

週刊新社会

4月24日 2018年号外 野田市版

振替 00140-0-149727 1ヵ月600円 1部150円 41円
 http://www.sinsyakai.or.jp/
 発行所：新社会党 E-mail/honbu@sinsyakai.or.jp

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3F Tel. 03-6380-9960 Fax. 03-6380-9963

憲法週間目前 安倍政権退陣
 迫り民主主義の力示そう。
 3000署名にもご協力を！

近年まれな多数激戦か 立候補予定者説明会に39陣営

市役所8階で11日に開かれた市議選立候補予定者説明会には39陣営が参加した。

内訳(表1)は現職26、元職1、新人12と、現職勇退が少なく新人が多いため多数激戦となる見通しだ。氏名等を公表しない予定者も立候補意欲を見せている。

政党的には公明党が5人、日本共産党3人(新人1)、民進党3人、社民、新社会、市民ネットワークが各1人で、新顔ではNHKから

国民を守る会(反日報道などとNHKを攻撃するなど右翼に位置すると思われる、昨年葛飾区議に当選した会の代表はその典型といわれている)が立候補する。

ただ、一人欠員の現職で勇退確定は野口義雄議長のみで、おさなみ議員は説明会には参加したが立候補の帰趨は未定だ。

高すぎるポスター印刷公費負担 他の印刷物に流用等は違法

市議選の焦点の一つにポスター印刷費の公費負担がある。前回市議選では公費上限請求の候補者が続出したが、おさなみ議員はこんなにかかるはずがなく、他の印刷物に流用されているのではないかと疑問を呈した(一覧を2面に掲載)。柏市議選では毎回この問題がオンブズマンから監査請求されている。

大阪府茨木市議選では前回、この公費負担が選挙の争点に取り上

げられた結果、前々回選挙では最高限度額請求者3人を含めて50万円以上は13人だったが、2017年では新人1人が50万円以上だったものの、50万円以上だった9人が30万円未満に下がるなど大幅ダウンしている。

野田市でも候補者陣営の良識が試される選挙となる。

表1 市議選立候補予定者説明会参加者一覧

	名前	現元新	住所	政党等
1	吉岡 美雪	現	中根	公明党
2	西村 福也	現	山崎貝塚町	公明党
3	椿 博文	現	春日町	公明党
4	中村 あや子	現	木間ヶ瀬	公明党
5	内田 陽一	現	木間ヶ瀬	公明党
6	石原 義雄	現	尾崎台	民進党
7	小椋 直樹	現	尾崎台	民進党
8	滝本 恵一	現	木間ヶ瀬	民進党
9	織田 真理	現	野田	日本共産党
10	星野 幸治	現	野田	日本共産党
11	長 勝則	新	中根	日本共産党
12	小倉 良夫	現	大殿井	社民党
13	小室 美枝子	現	山崎	市民ネットワーク
14	長南 博邦	現	山崎貝塚町	新社会党
15	平井 正一	現	下三ヶ尾	自民党
16	佐直 友樹	新	尾崎	NHKから国民を守る会
17	染谷 信一	現	清水	無所属
18	小俣 文宣	現	上花輪新町	無所属
19	古橋 敏夫	現	木間ヶ瀬	無所属
20	鶴岡 潔	現	東宝珠花	無所属
21	山口 克己	現	上花輪	無所属
22	船橋 繁雄	現	関宿元町	無所属
23	木名瀬 宣人	現	中根	無所属
24	谷口 早苗	現	花井	無所属
25	邑楽 等	現	関宿台町	無所属
26	深津 憲一	現	大殿井	無所属
27	栗原 基起	現	岩名	無所属
28	竹内 美穂	現	谷津	無所属
29	池田 利秋	元	木間ヶ瀬	無所属
30	中村 裕介	新	山崎	無所属
31	成瀬 猛	新	岩名	無所属
32	浜田勇次	新	山崎	無所属
33	岡田 真吾	新	公表せず	無所属
34	渡辺 崇礼	新	宮崎	無所属
35	神原 誠一	新	親野井	無所属
36	木村 欽一	新	清水	無所属
37	川崎 貴志	新	野田	無所属
38	難波 喜美男	新	みずき	無所属
39	公表せず	新	公表せず	公表せず

平和のつどい・のだ2018年イベント

5月4日・金(祝日)13時半~ 講演会 講演会後15時半から櫛の
 野田中央公民館講堂 資料代300円 ホールまでピースパレード

講演「『先取り懐憲』の武器輸出入を止めるために」講師 杉原浩二さん
 (武器輸出反対ネットワーク代表)

4 月臨時議会

**3 月中に決めなくてはならない条例
遅れたのは一人の職員の責任ではない**

臨時議会が 4 月 3 日に開かれたが、提出された議案は施行日が 4 月 1 日。つまり、3 月議会中に提案されるべきものであった。事実、近隣市は 3 月議会に提案され、可決されている。野田市の大失態であった。

議案は「指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正」

で、内容は課題があった医療と介護の連携を改善するためのもの。

なぜ遅れたのか。1 月 18 日に 12 の省令改正が交付されたが、担当者が長期休業に入り、3 月に復帰したので間に合わなかったというものである。

後から聞くと、この担当者は地域包括支援センターの職員。つまり、現場の仕事を担当している実務者であり、条例改正も本来業務とするのは余りにも厳しい。条例

対応は介護保険課のそれなりの責任者が直接担当すべきものである。どうも野田市の業務遂行ぶりにはちぐはぐがあり、人員不足も影響しているのではないか。改善を求めるものである。

なお、議案は介護保険の 65 歳以上の障がい者対応は問題だとする共産党のみの反対で成立した。

**安倍政権にもうひと刺し
倒閣こそ主権者国民の責任**

右の図は昨年都議選直前の新聞読者別の都内の安倍内閣支持率調査で、JX 通信社が行ったもの。

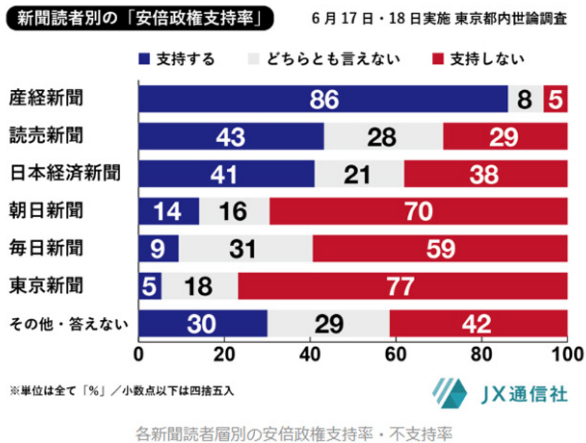
当時の安倍内閣批判は今ほどではないが、それでも都議選では自民党大敗、都民ファーストの圧勝であった。

興味深いのは各新聞読者の政権支持率で、産経新聞の 86% から、最低は東京新聞の 5% となっている。

産経新聞は極右の機関紙まがいだが、その読者は安倍政権信奉者が圧倒的といえよう。

しかし、新聞は米国映画の「ペンタゴンペーパーズ」を見るまでもなく、政府をチェックして読者に真実を伝えるもの。

メディアの取り込みは 30 年以



上も前の中曽根政権以来の自民党の手法で、大手メディアは翼賛体制に陥っているといえる。「ペンタゴンペーパーズ」では連邦最高裁が発行停止という政府の言い分を認めなかったが、日本では三権分立は形式だけで、民主主義の遅れと後退は目に余る。

ただそれも人まかせでは済まない。主権者は国民なのだから。

表 2 ポスター印刷費交付額
2014 年市議選
*最低額はおさなみ候補者

党派	印刷所	当選者	交付額	交付割合	
A	a	A A	467,058	100.0	
	b	A B	467,058		
	c	A C	467,058		
	f	A D	467,058		
	f	A E	467,058		
	r	A E	467,058	99.6	
	e	A F	465,120		
	e	A G	465,120		
	d	A H	460,469		
	g	A I	452,200		
B	h	A J	452,200	96.8	
	i	A K	444,771		
	j	B A	279,072		59.8
	j	B B	279,072		
	j	B C	279,072		
j	B D	279,072			
C	j	B E	279,072	100.0	
	k	C A	467,058		
	L	C B	467,058		
	m	C C	467,058		
D	n	C D	467,058	69.2	
	o	D A	323,000		
E	o	D B	323,000	100.0	
	m	F A	467,058		
	m	G A	467,058		
	p	H A	467,058		
	q	I A	408,272		
	r	J A	248,710		
	r	J A	248,710		53.3